



① 富山さんの趣味である仏教美術品がお出迎えする玄関。正面に坪庭を配置することで、空間の広がりも実現した。② 和室の吊り戸棚下からさり気なくのぞく坪庭。夜はライトアップし、また違った表情が楽しめる。③ 建て替えを機に仏壇を自らデザイン。モダンでスッキリとした印象で、来客時も気兼ねなく部屋を使ってもらえる。



③

● Point check ●

- ① 考え抜かれた間取り
- ② 外構を含む和モダンスタイル
- ③ 素材へのこだわり

うえだ
上田工業 株式会社

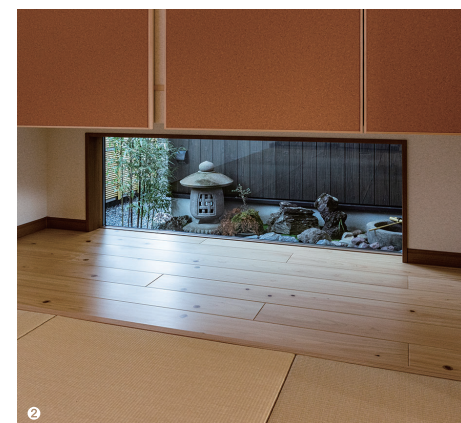
延岡市
富山邸

SUMIKA
こだわりの棲家
My Style

美しい庭にはっとする 京町屋風 和モダンの家



おもてなしの心を感じる庭。シバザクラ、タマリユ、黒竹、紅葉、アオダモなどが、四季折々の表情を見せる。カーポートの間には黒竹を植え、自然に目隠しを。



②

一つ一つの空間に
こだわりを詰め込んで

閑静な住宅街に完成した富山邸。「京都や奈良の雰囲気が好き」というご主人の希望で、京町屋風のデザインでまとめられています。

まず目を引くのは、道路と玄関を緩やかにつなぐ、洗い出し仕上げのアプローチ。美しい庭を見ながら歩くだけで、心までゆったりとほっとけてゆくようです。「庭師と相談しながら仕上げた」という植栽は、黒竹や紅葉、杉苔など和の雰囲気を大切に。四季折々で違った表情が見られるのも魅力です。玄関を入ると、正面の窓からは品の良い坪庭が望めます。無垢のヒノキを使った美しい床と調和し、開放感も抜群です。リビングや洗面との区切りに縦格子を用いたことで、庭と同様の凛とした印象が続きます。

「イメージは頭の中にあっただ」と言う通り、設計はほぼすべて富山さんご自身で。こだわりを詰め込み、予算を抑えるところとこだわるところ、両方のバランスに気を配りました。性能面でも、安心のSW（スーパーウォール）工法を採用。高气密・高断熱・耐震を実現する住まいは、住み心地も良いとのこと。これから美しく育つ庭にも注目の、こだわりの住まいの完成です。

こだわりが映える 空間デザイン

①玄関横の洗面スペース。古い旅館をイメージしてあえて鏡は置かず、トーンの違いで空間を引き締めた。②玄関すぐにご夫婦それぞれの寝室、洗面、トイレを配置。デザインだけではなく使いやすさにもこだわる。③カーテンの替わりに、柔らかな光を通す障子を採用。和室と一続きになった空間は、和とモダンが見事に融合する。④大型テレビを置いても十分な広さのリビング。玄関から続く縦格子のデザインを、リビングの扉にもさりげなくちりばめる。

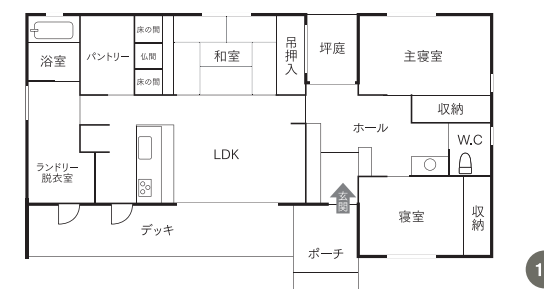


P lanning point

お施主様のイメージを丁寧に実現

富山様は初めからイメージをしっかりとお持ちだったので、それをどう具現化していくかに気を配りました。アイデアも豊富だったので、打ち合わせは細かい部分も含めると10回以上行ったと思います。富山様とは展示会でお会いしてから長いお付き合いですが、今回もこだわりの詰まった家づくりをご一緒できて、大変うれしく思います。

F loor plan



面積	構造	建築本体価格帯 (万円)
延床：105.58㎡(31.93坪) 1階：105.58㎡(31.93坪)	工法：スーパーウォール工法 基礎：ベタ基礎	2,000 1,500 2,500

詳しい情報は **P.000**

うえだ
上田工業 株式会社

〒882-0867 延岡市構口町2-204-1
TEL: 0982-33-3033 FAX: 0982-33-3054

施工エリア 県央 県北 県西 県南

このお家を建てた施工会社の
イベント情報や過去の実例はコチラ ▶





①「仕事でも使う書斎とリビングにつながりを持たせたい」と、この造りに。子供たちもお気に入りの場所。②ダイニングの棚やテーブルも、木とアイアンでそろえた。壁面のピクチャーレールは奥様が友人の家で教わったアイデア。③北西から見た外観。ガルバリウム鋼板の黒が効き、おしゃれな雰囲気。玄関前のウッドデッキと壁面の木材が柔らかさを生み出している。



家族みんなが居心地よく 細かなリクエストも実現

吹き抜けのリビングは、明るく広々とした空間。踊り場の下にある和室は、お客さんが来たときにも使い勝手がいい。テーブルやテレビ台は、末永さんの手作り。



仕事部屋とリビングを
緩やかにつなげる

ウッドデッキのアプローチが印象的な末永邸。廊下を通して室内に入るとすぐに目に入るのが、吹き抜けの開放的なリビングと、ご主人が仕事部屋としても使っている広い踊り場です。その踊り場の下に和室を設け、使い勝手のいい造りとなっています。ご主人の末永洋一郎さんは、家具や建具などを手掛ける「末永家具」の三代目。上田工業とは、長く仕事を組んできた仲でもあり、「自分の好みを分かってもらえていることもあって、細かい部分も満足しています」と話します。

高気密・高断熱・耐震を実現するSW（スーパーウォール）工法は、当初からの希望だったそうです。「SW工法で建てられた現場に何度も入って、夏の涼しさを実感しました」と末永さん。夏の快適さはご家族で実感したい。「壁紙で変化を付けたい」というリクエストも実現しました。

ご夫婦の寝室とウォークインクローゼットの壁紙は、奥様を選んだシックな雰囲気。子供部屋はお子さんたちで選び、お気に入りの部屋に仕上がりました。家族それぞれが居心地のいい空間に、笑い声が響きます。

面積	延床：144.08㎡(43.58坪) 1階：69.56㎡(21.04坪) 2階：74.52㎡(22.54坪)
構造	工法：スーパーウォール工法 基礎：ベタ基礎
建築本体価格帯 (万円)	2,000 1,500 2,500

延岡市
末永邸

うえだ
上田工業 株式会社

〒882-0867 延岡市構口町2-204-1 TEL:0982-33-3033 FAX:0982-33-3054

施工エリア 東北 関東 関東南 関西

詳しい情報は
P.000

SUMIKA
こだわりの棲家
My Style

将来のことを考えて 使い勝手のいい間取りに



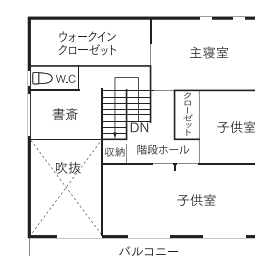
①2階には子ども部屋が2部屋あり、こちらは現在、長男、次女の2人で使っている。いずれは2つに仕切る予定で、ドアも2つ付いている。高さや組み合わせが変えられる机もお父さん作。②寝室からつながるウォークインクローゼット。壁紙はシックな色を選んだ。③小窓から明かりが入る玄関。収納の上の窓からは、踊り場（書斎）の明かりが落ちる。④玄関前の廊下にある階段下収納が便利。出かける前に必要な物はここに集めておけば安心。



希望に沿いながら新たな提案も



家族構成やご家族の希望を分かっていたということもあり、スムーズに提案させていただくことができました。和室部分は当初、屋外からつながるバイク置き場として考えていましたが、何度も打ち合わせを重ねて、現在のプランになりました。ご主人の作る家具や建具を生かし、各部屋に統一感が生まれているのもよかった点です。



1F

Floor Plan

2F



家族それぞれが趣味を楽しみ ペットの部屋もある住まい

● Point check ●

- ① 奥さまの蔵書が収まる趣味の部屋
- ② 通路を兼ねたペット専用スペース
- ③ それぞれの時間を守る距離感



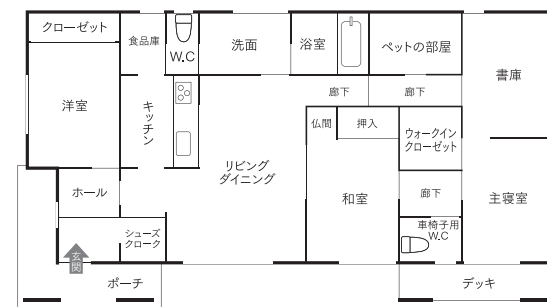
① 玄関は息子さんの部屋とリビングにつながる。息子さんの趣味を尊重して防音壁の部屋でゲームができるように。② 奥様の5000冊の蔵書が入るように計算して棚を設置した趣味の部屋。③ 通路を兼ねたペットのスペース。冷暖房完備で、様子が見えるよう低い壁を付けた。

Planning point

明確な要望で決定もスムーズに

奥様の趣味の部屋とペットのスペースを確保すること、ゲームが趣味の息子さんの部屋は主寝室から離すというように、最初から要望が明確でした。そのため、間取りは2回で決まるほどスムーズでした。スタート時から好みが明確に固まっており、信頼して任せてもらったことで、打ち合わせも一緒に悩みながら楽しんでできました。

Floor plan



1F



トイレはキッチン、脱衣・洗面所からも利用可能な上、リビングを通過して出入りできて、来客時にも便利。また対面式のキッチンで家族との会話も増えたそう。

面積	構造	建築本体価格帯(万円)
延床：110.13㎡(33.31坪)	工法：木造軸組在来工法	2,000
1階：110.13㎡(33.31坪)	基礎：ベタ基礎	1,500 ~ 2,500

詳しい情報は P.000

うえだ
上田工業 株式会社

〒882-0867 延岡市構口町2-204-1
TEL: 0982-33-3033 FAX: 0982-33-3054

施工エリア 県央 県北 県西 県南

このお家を建てた施工会社の
イベント情報や過去の実例はコチラ



動線に行き止まりなし
ながら家事が便利

〇さんは、家を建てるなら仕事ぶりに定評のある上田工業と決めていたのだそう。「趣味の蔵書がすべて収納できる部屋とペットのスペースを確保したい」と最初に要望を伝えました」と奥様は語ります。

〇邸は玄関に入るとすぐに、成人した息子さんの部屋とLDKに続く扉が見えます。実は息子さんの部屋は防音仕様。趣味のゲームで夜中に大きな音を出しても、LDKを挟んで主寝室があり離れているため、親子どちらも気兼ねせずに過ごせます。また、トイレはどの部屋からも利用しやすいような配置。水回り動線もコンパクトにまとめました。加えて、共有スペースであるリビングや浴室・洗面所、トイレから、ペット部屋、主寝室、奥様の趣味の部屋まで、どの部屋も通り抜けでき、回遊できる動線に。

ペットの様子を見つつ、主寝室にもものを置きに行くなど「ながら」用事ができて便利なのだとか。「コーディネートターさんが的確に提案してくれて、楽しく家づくりできました」。家族がお互い干渉することなくおうち時間を堪能でき、ペットも一緒に暮らせる家に大満足です。



①白色の壁にブラック系を合わせたモダン和風の和室。ちょっと腰を下ろせる小上がりは、リビングとは違うムードでくつろげるスペース。②靴棚と傘下げポールをきれいに配置した、シンプルさがおしゃれなシューズクローク。③真っ白な洗面台にブラックのアクセントがカッコよさを引き立てる洗面室。住まいの中でもひとときを輝く奥様の大的お気に入り。



Planning point

これからの時代は玄関に手洗い場

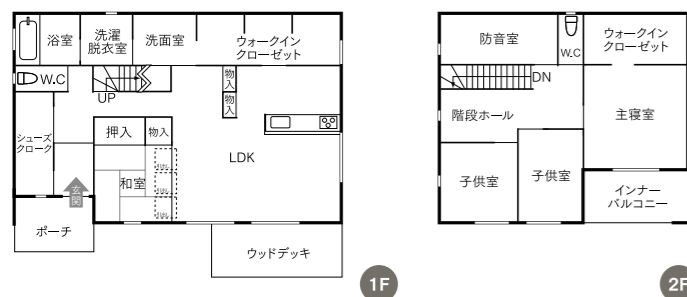
一番は、玄関ホールに手洗い場を設けたことです。帰宅して、洗面室まで行かなくても手洗いをして、家の中に入れる住まいにしました。施主様ご希望の「シンプルカッコいい」をかなえるために、ご要望を聞き、そこにプロとしての案を交えながら、「最高に好き」と言っていただけの住まいを造り上げることができました。



朝目覚めて“幸せ”を感じる 家族が笑顔になる住まい

白を基調としたリビング・ダイニングに、カウンターや食器棚、ソファなどの家具をブラウン系にまとめ、トーンを統一。シンプルで落ち着いた空間に。

Floor plan



「この家に住み始めてから、毎日が楽しくなり、心まで広がった感じがします」とマイホームに大満足しているTさん家族。「シンプルでカッコいい家にしたかった」というTさん。ブラック系の落ち着いたトーンが大好きという奥様の好みを尊重し、外観は黒一色に。部屋の中も白を基調に、建具や壁紙にダーク系を配色。落ち着いた雰囲気ながら、暗く沈むことのない明るい住まいが完成しました。

その秘訣は回遊性のある間取り。キッチン裏に、リビングから洗面室を通り回遊できるように設けた広々とした収納スペースを配置。ここに片付けることで、目に入る部分に置物がなくスッキリ。また、ゴーギヤス感のある洗面台がシンプルながらもおしゃれで、住まいをカッコよく引き立てています。

要望がかなった住まいは、家族を幸せにしてくれることを物語っているT邸。これも担当者と一緒に造ったからだと誇ります。「聞きたい事が聞けて、頼めて、家族のように本当に一緒になって考えてくれたおかげです」。2階にはインナーバルコニーもあり、これからの子どもの成長とともに住まいをもっともっと満喫していくそうです。

**動きやすい回遊性と
カッコよさを極めた家**



①リビングと洗面室へつながる廊下に面した2方向から出入りできる小上がりの和室。廊下の窓の奥からは森が望め、まるで高級旅館にきたかのような気分させてくれる。②窓の向こうに広がる森を、土間の風情に取り入れた広々とした玄関ホール。③リビング奥の窓を開けるとそこはウッドデッキ。森の匂いと風と景色を体を感じながら最高のティータイムスポット。



Planning point

デッキでゆっくりできる住まい

今回の住まいは、(有)いなだ木工が設計・デザイン・建具製作を行い、当社が施工をしました。K様邸は昭和28年に建てた住まいの木材と大自然という広大なパナマ、貴重な資源に恵まれていました。それらを活かした家づくりが今回の最大のポイントでした。大黒柱や三方を見渡せるデッキというカタチで資源を暮らしに取り入れました。



空と山に囲まれた中に建つ 約70年もの大黒柱がある家

足を伸ばしてゆっくりくつろげるように、フローリングに畳をはめ込んだ、掘りごたつスタイルのリビング。床材のヒノキと、塗り壁の自然素材が住まいを優しく包む。

Floor plan



1F



大黒柱が居を守る
 新しい和な住まい

鳥がさえずり、木々が風にそよぐ音がBGMのように聞こえてくる。そんなのどかな場所にK邸はあります。今回は、昭和28年に祖父が建てた築67年の住まいの建て替え。子どもが巣立ち、ご夫婦お二人になられたので、部屋数を必要最小限に絞り、快適性と回遊性を重視しています。

ご夫婦がゆったりとくつろげるように設けられたのは和なリビング。足を投げ出し、ゴロンと寝転がっても気持ちいいように、床はフローリングではなく畳敷きの掘りごたつスタイル。そこに、貫禄のある大黒柱が通っています。「前の家のものを何か新家に取り入れたい」というKさんの要望を受け、旧家の梁だったものを大黒柱として据えましました。約70年前の木材は今も呼吸をさせて、住む人に安らぎと安心感を与えています。

広々とした玄関ホールからはリビングと洗面室への左右に分かれる間取りになっています。その真ん中に据えられたのが和室です。リビングやキッチンに行くのにも洗面室にも行け、ご夫婦にちょうどよい高さの小上がりとなっています。Kさんご夫妻の暮らしが豊かになる住まいが完成しました。

広々とした玄関ホールからはリビングと洗面室への左右に分かれる間取りになっています。その真ん中に据えられたのが和室です。リビングやキッチンに行くのにも洗面室にも行け、ご夫婦にちょうどよい高さの小上がりとなっています。Kさんご夫妻の暮らしが豊かになる住まいが完成しました。



①将来仏間になる和室は、小上がりの端をベンチのようにも使える。丸窓は、障子を閉めたときのシルエットが美しい。②タイルを使いたくて作った洗面台。蛇口の後ろには一枚だけ金のタイルが。踊り場にあるため、帰ってすぐ手が洗える。③ビルトインガレージのある木造3階建て。最後まで悩んだ末に決めたこだわりの緑色の外壁が印象的。



Planning point

木造でも実現できる3階建て

Y邸は鉄骨ではなく、木造住宅で最高レベルの耐震等級3をクリアした、地震などの災害にも強い家です。奥様の祖母の家が建っていた土地を利用したため、狭小地で法的に多くの制限があり、希望をどうかなえるかが難題でした。当初の提案から変更などもあり少し時間が掛かりましたが、3階リビングにしたことで、夏は花火を楽しめる素敵な住まいになりました。

Floor plan



木造建築で3階建てを実現 狭小地の弱点を克服

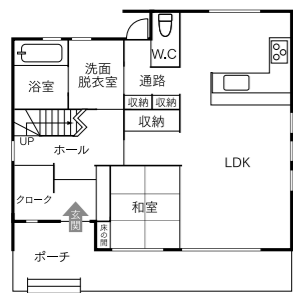
奥様一目ぼれの赤いキッチン。赤を映えさせるためにリビングは白で統一した。背面にはパントリーを置いたので、短い動線で移動できる。

「もともと祖母の家があったんですが、壊して新しく家を建てようと思って、父とも付き合いのある上田工業さんに相談したんです」と語る奥様。隣に建つ奥様の実家に近接しており、土地も狭いことから「3階建てにして、採光を確保するのがいいのでは？」と考えました。

明るく隣家を気にすることもない3階に、リビングや和室、キッチンを入れて家族がくつろぐ場所にして、2階に寝室や子供部屋を配置しました。1階はビルトインガレージを設けてあるため、雨の日も濡れずに室内に入れて便利です。将来、仏壇を置くことが絶対条件だった奥様のために、小上がりの和室も造りました。段差を設けてあるので、腰掛けるのにちょうどいい高さ。障子風の三枚引き戸で仕切れることも可能ですが、普段は広々と開放して使っている様子です。

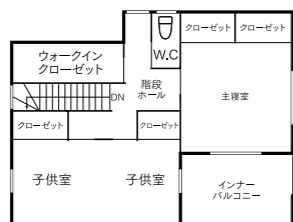
Y邸で特長的なのは、奥様が一目ぼれした、真っ赤なシステムキッチン。調理するすぐ後ろに、扉付きのパントリーとカップボードを配置してあるので、使うものをすぐ取り出して便利です。キッチンの横に見える小窓は、ご主人が書斎から飲み物を頼むために作ったのだとか。好きなものを上手に配置し、心地良く過ごせる家にご夫妻も大満足です。

土地制限がある中でも
長年の経験でカタチに



1F

Floor Plan



2F



憧れのL字型キッチンで
家事が楽しくなる住まい

外気温は7℃、しとしとと雨が降る日でも家の中はエアコン一台で暖かくてさらりとした気持ちの良い空気が流れています。N邸は、高気密・高断熱・高耐震構造のスーパーウォール工法の家なので、外の冷たい空気を中に入れて、家の中で暖めた空気が逃げないため、いつも適温の空気が家中を快適に保ってくれています。

間取りでこだわった部分はキッチン。バーカウンターのL字型のデザインは、奥様が友達を招いて楽しい時間を過ごしたいと憧れていたもの。それを踏まえた間取りは、担当者ご夫妻と一緒にたどりつくり上げました。人と人がぶつからないように広めにキッチンスペースを取り、横にはパントリーを設けました。その奥にトイレ、洗面・浴室を並べ、回遊性のある動線に。「家事がしやすい」と奥様も大満足です。

キッチン前のリビングではご主人がくつろぎ、和室では子どもが遊べる住まい。天気の日にはウッドデッキでテイクアウトを取りながら子どもと愛犬が芝生を駆け回る。どの部屋に居ても家族の気配が感じ合える安心で快適な暮らしがそこにありました。



施主様と一緒に 造る住まい

間取りは施主様と一緒に考えました。生活雑貨などはパントリーに収納するようにし、生活空間はスッキリとできるようにしています。キッチンからパントリー、トイレ、浴室を一直線にし、玄関からも行けるように回遊性を持たせた動線にしています。快適にそして家族みんなが暮らしやすい間取りが完成したのではないのでしょうか。



①シューズクロークと玄関口を扉で分けた玄関。シューズクロークは愛犬のゲージも置ける広さ。②クロスや畳など色選びは奥様が担当。モダンな和室は白壁を基調としたリビング・ダイニングとはトーンを変えたおしゃれな空間に。③家事がしやすいちょうどいい広さのキッチン。バーカウンター上に造りつけたワイングラスホルダーは、ご夫妻のお気に入りのポイント。



スーパーウォールで快適な アメリカンハウス



リビングでゆったりできるようにと広々ソファを購入。晩酌をしたり、ごろごろしたり、思いっきりのんびりできるリビング。キッチンのカウンターは、完成した料理を置くのに重宝しているそう。

面積	延床：114.72㎡(34.70坪)
	1階：63.76㎡(19.28坪)
	2階：50.96㎡(15.41坪)
構造	工法：スーパーウォール工法
	基礎：ベタ基礎



延岡市
N邸

上田工業 株式会社

〒882-0867 延岡市樋口町2-204-1 TEL:0982-33-3033 FAX:0982-33-3054





1F Floor Plan

2F

Planning Point ご夫妻の要望を満たせた住まい

白色に黒茶系を入れた外観は、白色がいいというご主人と、黒系がいいという奥様の要望を取り入れてカタチにしました。また、2階には屋根付きの広々としたバルコニーを設けてあるため、外で遊べない雨の日でも遊ぶことができます。リビングの大空間に、クロスや扉を部屋によって変えているなど楽しく過ごせる住まいが完成しました。



①「使いたいクロスがいっぱいあって、いろいろ使いたかったから」と各部屋のクロスを違うものに。つい長居したくなるトイレに仕上がった。②子どものお屋敷にも重宝する和室。仕切り扉を天井まで伸ばし開放感を演出している。③収納スペースがたっぷりあるので、目に見えるところはスッキリ。キッチンに居ても和室、リビング、ダイニング、すべてが見渡せるので安心。



子育てが楽しくなる
オープンリビングな住まい

リビングの壁はエコカラットでコーディネート。リビングがぐっとおしゃれになるだけでなく調湿機能もあるので部屋が快適。キッチンにはパントリーのほかに大容量の収納スペースも設けた。

面積	延床	131.37㎡(39.73坪)
	1階	75.35㎡(22.79坪)
構造	2階	56.02㎡(16.94坪)
	工法	スーパーウォール工法
	基礎	ベタ基礎



延岡市 M邸

上田工業 株式会社
 〒882-0867 延岡市樋口町2-204-1 TEL:0982-33-3033 FAX:0982-33-3054

施工エリア 県北 県央 県南 県西

ダイニング、和室と一体
大空間の広々リビング

玄関からリビング方向に進むと驚くほどの大空間が広がります。リビングと向かい合わせに和室があり、その横側には通路を挟んでキッチン・ダイニング。空間を遮る建具などの仕切りはなく、モノも収納スペースに整頓している。いつもおしゃれにスッキリと生活することが出来ます。「2階には寝るときに上がるくらいで、ほとんどここで過ごしています」と奥様。家族が自然と集まる空間に大満足の様子です。

「幼い子どもがいるから、目が行き届く住まいにしたい」との思いから今回の間取りが完成しました。最初は、キッチンとリビングの間を壁で仕切っていましたが、見通せないうえに柱に変更。そうすることで、どこに居ても見通せるだけでなく、スタイリッシュな雰囲気もプラスされています。

キッチンの後ろにはパントリー、洗面・浴室、トイレをL字型に間取り、玄関へとつなげています。回遊できることで、ママが見えなくて「居ない!」と泣くこともなくなったそう。間取りだけでなく、部屋ごとにクロスを変える工夫や洗面室、トイレへの扉の色も一つ一つ変えるなど、暮らしを楽しくするための参考になりそうです。

SUMIKA
こだわりの棲家
My Style

グレードの高いZEHの家で 電気代がゼロの省エネ生活

開放感のある吹き抜けのリビング。キッチンにはサブウェイタイルを使用し、棚などの色合いをそろえて統一感を。和室下には、子どものランドセルやおもちゃを収納。



子どもも大人も便利な デキスペースが自慢

ゼロエネルギーの家にしたかったというYさん。ZEHビルダーとして豊富な経験を持つ上田工業で扱う中でも高性能なスーパーウォール工法の家になりました。「断熱性が高いため、オール電化にしても光熱費がかなり安くなりました」と、暮らしの質の変化を実感しています。奥様の希望は、スッキリとした室内での暮らし。モノをできるだけ収納できるように、部屋の随所に収納を配置しました。共働きのため、家事は夫婦で分担のYさん一家。家事動線はできるだけコンパクトに、洗濯物は脱衣・洗面所を広く取って、ランドリールームを備えています。洗濯物は、外のデッキにも干せますが、室内にも干すスペースを設け、畳んだり、アイロン掛けしたりするカウンターと下着類を収納する場所も造りました。また、トイレは扉を2カ所に設置。玄関と脱衣・洗面所からも行けるので、何かと使い勝手がいいそうです。

自慢は広いデッキ。ご主人が趣味のサーフィンから帰って外でシャワーを使えるように温水付き。夏場は子供たちの水遊びにも使えます。また、軒が深いので、多少の雨でも濡れずに洗濯物が干せるのも便利。共働き家族を支えるゼロエネルギー住宅にご夫妻も納得の様子です。



Planning point

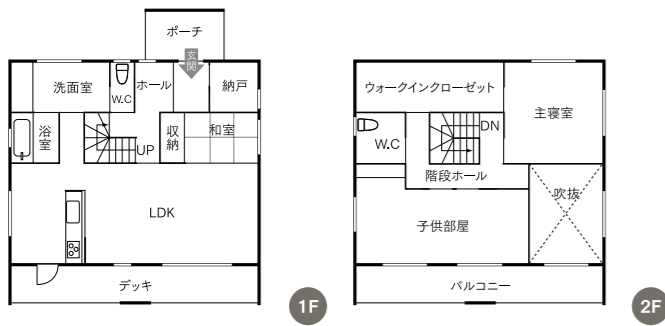
エネルギーを家で作るZEH住宅

Y邸は、ZEH住宅が大前提でした。高气密・高断熱はもちろん、計画換気システムで24時間健やかな空気を保ちます。また高い断熱性能に頼るだけでなく、室内への日差しの入り方なども考えて、間取りや窓の位置を設定してあります。夏場は太陽光が室内に入らないように、冬場は逆に太陽光を取り込めるように日射遮蔽を意識した家づくりを心掛けています。

①広いデッキは、軒を深くしたので、洗濯物も干しやすい。外に温水付きシャワーも設けたので、サーフィン帰りが便利に。②自宅で簡単な仕事ができるようにと付けたカウンター。寝室横にある家族のウォークインは、子供部屋からも入れる。③約2坪ある脱衣・洗面所は、室内干しできるランドリールーム兼用。カウンターもあるので畳んで、アイロン掛けもできる。



Floor plan



面積	延床：122.55㎡(37.07坪) 1階：66.24㎡(20.04坪) 2階：56.31㎡(17.03坪)	構造	工法：スーパーウォール工法 基礎：ベタ基礎
----	--	----	--------------------------



上田工業 株式会社

延岡市
Y邸

SUMIKA
こだわりの棲家
My Style

家族の物語が生まれる スキップフロアのある住まい



①リビングへの階段は家族のコミュニケーションにも一役買っている。フロアが低い分、芝生の庭とも行き来がしやすい。②奥様が雑誌で見つけたフランスの住宅をお手本にデザインされた外観。フェイクの罫戸やアイアンの花台など、窓まわりの表情も豊か。③モルタルで仕上げたホールが個性的。玄関からアーチの間口を抜けてLDKへ導く動線はあえて暗めに。ここにも「田舎の家」のコンセプトが表現されている。

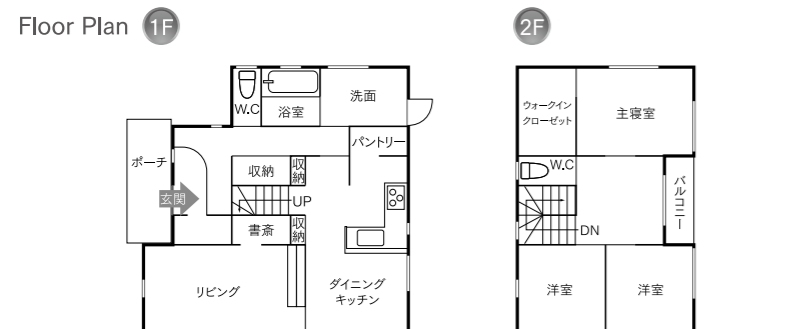


コンパクトかつ機能的にまとめられたダイニングキッチン。タイル張りの造作キッチンやレンジフードのデザインなど、奥様のこだわりが詰まったお気に入りのスペース。

... Planning Point ...

木・土・鉄の素材表現を大切に空間づくり

「ヨーロッパの田舎の家」というコンセプトと、M様ご夫妻の要望に応える住まいづくりを目指しました。室内に現した柱や梁には、一見すると古材のように見える加工を。どれだけビンテージ感を出すかなど、M様と細かく打ち合わせしながら、一つずつ丁寧に仕上げています。デザインはもちろん、住み心地や使い勝手まで、期待以上のものになるよう全力で取り組むのが当社のモットーです。



住宅カルテ		建築本体価格帯 (万円)
面積	構造	~ 1,500
延床: 110.09㎡ (33.30坪)	工法: 木造軸組在来工法	1,500 ~ 2,000
1階: 64.07㎡ (19.38坪)	基礎: ベタ基礎	2,000 ~ 2,500
2階: 46.02㎡ (13.92坪)		2,500 ~



「自分たちの住まいづくりを考えていた頃、遊びに行った友人宅がとてすてきだったんです」。その住宅の設計・デザインを担当した、いまだ木工を介して施工の上田工業とつながり、三者一体となってプランを練り上げました。M邸のコンセプトは「ヨーロッパの田舎の家」。設計では、希望する建築予算の範囲内で、五感に訴えるような空間づくりに気を配ったといえます。塗り壁やビンテージ加工を施した木材、印象を引き締めるアイアンなど、素材の質感を表現するバランスには特に注意したとか。「任んで1年ほどですが、気に入らないところがありません」とご夫婦が口をそろえるのも納得です。

住空間では、リビングのスキップフロアが大きな特長。ダイニングキッチンと一体感を持たせつつ、異なる雰囲気になるよう照明をシンボリックなシャンデリアに。娘さんが階段に座って絵本を読んだり、ご主人の書齋が備わっていたりと、家族が自然と集まるスペースになっています。

キッチンがちょっと変わったL字型。ダイニングと対面になっていますが、リビング側が広く開いているので動線がスムーズなんです。奥行きを確保して、両サイドにオープン棚を設置。数歩の範囲で欲しいものに手が届くので、家事の時短にもなりそうです。

いつも自然体でいられる
安らぎに満ちた空間